

姉妹校調印式にあたっての校長挨拶



本日は、ASMSA からコーリー校長先生はじめ多くの方々をお迎えし、このような調印式を行うことができましたことを、大変ありがたく、光栄に思います。本校と ASMSA との姉妹校提携が、姉妹都市プログラムエグゼクティブディレクターのメアリー・ニールソン様、そして、花巻国際交流協会会長の佐々木史昭様はじめ、関係する多くの方々のご尽力のおかげで実現できたことを、まずもって、深く感謝申し上げたいと思います。

ASMSA(Arkansas School for Mathematics, Sciences and the Arts)は、科学・数学・技術領域に重点をおく STEM 教育の世界のフロントランナーであります。更に、STEM 教育にアートの視点を取り入れているところが大変ユニークで興味深く感じております。

現代は、人工知能(AI)の進展により、多くの仕事に変化していく時代といわれます。その中で、人工知能が追いつけない創造的知性や社会的知性の育成が注目されています。そういう意味で、サイエンス&アートの視点を持つ ASMSA は、まさに世界をリードする人材育成の教育理念を持つ高校であると、私は深い敬意を抱いています。

さて、先日、本校で文化祭(桜雲祭)がありました。その発表の目玉の一つは、昨年度から始まった「自由研究」の発表でした。10 組の口頭発表と、そして数多くのポスタープレゼンテーションが行われました。物理、化学、数学、心理学、教育、地域、文学、哲学など、多岐にわたるテーマについて、生徒が自ら課題を見つけ、他者と協働し、学ぶことの楽しさを経験している様子を感じることができました。本校では、この自由研究を軸としながら、「主体的、対話的で深い学び」を推進していきたいと考えています。

ASMSA の、実践的で高いレベルの探究活動に比べれば、本校はまだ未熟で発展途上かもしれません。しかし、姉妹校を結ぶことをきっかけに、互いの研究活動を交流する機会ができれば、本校の探究活動に飛躍的な進歩が期待できると信じています。

また、ASMSA にとっても、日本、岩手の課題、地域コミュニティの問題を共有することによって、よりダイナミックな研究に発展するのではないかと推察しております。そして、近い将来、環境問題など、地球規模の問題や人類共通の課題について議論し合い、共同で研究するチャンスが生まれることを私は夢見ています。これは、両校の提携の一つのゴールであり、未来型の高校の一つのモデルとして世界に示すことができるのではないかと考えています。

来年度からは、お迎えするだけでなく、短期ではありますが、本校からも ASMSA に生徒を派遣する仕組みをつくり、交流を広げていきたいと考えています。

これからの両校のますますの発展と、そして、今後、花巻市とホットスプリング市の友好と信頼がますます深まることを祈念し、私の挨拶といたします。ありがとうございました。

岩手県立花巻北高等学校 校長 下町壽男

姊妹校調印式風景

